



令和5年度北海道旭川盲学校第2回学校運営協議会を12月7日（木）に開催しました。今回は・・・

- (1) 令和6年度の学校経営方針（案）について
- (2) 学校いじめ防止基本方針の改定について
- (3) 学校評価について
- (4) 今後のコミュニティ・スクールについて

の内容で開催されました。校長、教頭からの説明を行ったあと、委員の皆様からご意見をいただき、学校運営へのご示唆をいただきました。

また、今後のコミュニティ・スクールについて子ども、保護者、地域の方と一緒にできる教育活動について話し合われました。



学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びや体験活動の充実を目指すためのご意見をいただきました。

学校周辺の点字ブロックの清掃を町内会の方などと一緒に実施するなどの活動はよいと思う。

新しい市役所の庁舎などの施設等に出向いて視覚障害者の視点でいろいろと意見を発信してくと良いと思う。

町内会の方と花壇の整備や農作物を育て収穫し、一緒に食べるなどしてはどうか？

町内会の方と一緒に避難訓練をしてみてもどうか？

お互いのことを知る上で、給食を一緒に食べたり、話をしたり、遊んでみたりすることから始めてみては？

町内会でも一緒にゴミ拾いをするなどを含めた盲学校との関わりを考えていきたいと思う。



<その他のご意見>

- ・学校いじめ防止基本方針の改定について、いじめが起これないように組織的に対応してほしい。
- ・旭川盲学校の先生方は元気で明るく、子どもたちに対して素晴らしい対応をしている。地域にPRしていきたい。
- ・旭川北ロータリークラブでも盲学校との交流について検討していきたい。
- ・盲学校の弁論大会に参加した生徒で、当初は盲学校に通うことに抵抗があったが、盲学校に入学してみて盲学校に来てよかったと言った生徒が、卒業後を見据えて自分の生活をよりよくしようとしている発表を聞いて感動したことがある。このようなことを地域に伝えていけるとよい。
- ・盲学校に入学前は、入学することに抵抗感があったが、盲学校に入学し色々なことを体験し、学校生活を送ることで子どもが成長し、入学してよかったと感じている。
- ・盲学校の子ども実態が地域に十分に、認知されていない。学校運営協議会からも理解・啓発活動を行っていったらよい。